

## 神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。  
第16回目は、イスラエル在住のNIさんにその経緯を語っていただきます。

私は生まれた時から母に連れられ、教会の礼拝に通っていました。教会は私にとって第二の家であり、学校のような場所でした。

私が洗礼を受けたのは、小学5年生の時です。サマーキャンプのメッセージで、自分が傲慢で自己中心的な人間だということに気づきました。今の自分は、わがままで自分勝手に、神様に喜ばれる人間ではないと分かりました。しかし、神様はそんな私をも愛してくださいました。私は、自分の罪を神様の前に悔い改め、イエス様の十字架を信じて、罪の赦しをいただき、その年のクリスマスに洗礼を受けました。

それから年月が経ち、大人になるにつれて、自分の欲を優先し、忙しさを理由にして、神様から離れることが増えていきました。大学を卒業し就職すると、毎週の礼拝にも出られず、ただせわしく時間が過ぎていきました。そんな時、予期しなかった大きな出来事が起こりました。それは結婚を通してイスラエルへ行くことでした。

「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。」(詩篇37:5) この聖書のみ言葉が私の心に留まり、これは神様の計画で、自分に与えられた働きがそこにあると感じました。そして退職し、夫と共に

イスラエルへ移住しました。

聖書の舞台であるイスラエルの地を歩くことは、子どもの頃から読んで聴いていた聖書の話を一気に映像化するような経験でした。ヴィア・ドロローサを歩いた時、私の罪の為にイエス・キリストが苦しみを受けて、十字架に付けられたことが、今まで以上に心に突き刺さってきました。キリストは本当に私の為に命を献げられたんだ! 同じ道を私が歩いているんだ!と思うと、感動と喜びで鳥肌が立ちました。私は、イエス様の十字架の重みを強く感じて、神様の救いのみわざに心から感謝しました。

神様は、私がどんなに厳しくて悲しいような中にあっても、見守っていてくださるお方です。「私には出来ない」「私にはなんの価値もない」と弱音を吐くこともありましたが、どんなに小さなことでも、神様のために出来るなら、こんなに嬉しいことはないと思います。これから私の人生にどんなことが起きようと、神様に全てを委ねて、信頼していきたくです。



一時帰国中  
教会で家族と共に



## 探しなさい。そうすれば…

子どものころ、宝さがしという遊びをしたことがあります。家の中や庭に隠された“宝”を競って探していくゲームです。そう簡単に見つかるものではありません。隠された5個のうち、あと1個が見つけれなくて、時間切れになり、悔しい思いをしたものです。

イエス・キリストが言われた言葉で、次の言葉は有名です。「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば開かれます。」(マタイの福音書7章7節)

ただ、これを自分の都合の良いように利用する向きもあります。“何でもほしいものを求めさえすれば与えられる”と勘違いし、与えられないと、“神は聞いてくださらないではないか”と文句を言うのです。何を“求めよ、探せ”と言われているのでしょうか。真理です。真理を求めていけば、必ず与えられる、真理を探せば、必ず見つかるのです。真理とは何でしょうか。それ

はイエス・キリストの救いです。

ひところ、自分の意志で実行するということができない、いわゆる“指示待ち人間”が増えていると言われました。また、“果報は寝て待て”ということわざがあります。確かにそういう面はありますが、しかしキリストの救いは、こちらから積極的に、また真剣に探していく者に開かれていきます。

神様は私たちが愛しておられます。私たちが幸いな道を歩むことができるように、十字架によるキリストの救いを備えてくださいました。キリストが私たちの罪のために、十字架にかかってくださったのです。神様のほうでは、お膳立てができています。あとは、私たちが渴きをもって探し求めていくかどうか、です。

それは、決して見つけにくいところに隠されているのではなく、すぐに見つけやすいところに用意されています。探しませんか。案外、近くにあるかもしれませんよ。

## 第39回 阪神女性の集い (インターネット動画配信)

「いのちのおはなし」～小さいいのちのドアから見えるもの～

講師：永原郁子氏 (ながはら いくこ) マナ助産院 院長

音楽ゲスト：LaLo (ラロ) バイオリン (西村 泳子) とピアノ (岩崎 智早) のデュオ



YouTubeチャンネル 阪神女性の集い でご視聴ください。

配信期間：10月14日(木)～11月23日(火)

## 宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル (聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。  
ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30～10:30

第二部 11:00～12:00





## 「ムラサキシキブ」

紫色の実が美しい ムラサキシキブは  
日本に 古くから自生している 日本原産の植物だ  
北海道から沖縄まで どこでも 目にすることができる  
寒さに強く 暑さにも強い植物である

夏の頃 白い小さなつぼみが ふくらんできて  
ピンク色の花を 咲かせるのだが  
花はあまりにも小さくて ほとんど目に留まらない  
わずか 3~4mmほどの花である  
しかし この時 近くに寄ると 甘い匂いがただよっている  
この匂いで 花は昆虫などを 引き寄せているのだ  
やがて 緑色の 若い実をつける

そして 9月になると 色づき始める  
美しい つやのある 紫色の実となる  
そこに太陽の光が当たると いっそう 鮮やかさを増していく

晩秋から初冬にかけて 葉が枯れてしまった後  
枝に残った紫色の美しい実が 遠くからでも よく見える  
そうして ムラサキシキブの実は メジロやシジュウカラなど  
野鳥の食料となっていく

もともとの名前は ムラサキシキミと 呼ばれていたという  
シキミ(重実)とは たくさんの実をつけるという意味である  
紫色の実の美しさから 人はこの木を ムラサキシキブ  
源氏物語の作者 紫式部と 重ねていったのであろうといわれている

9月の風に ムラサキシキブの枝が やさしくゆれていた

主よ 人とは何ものなのでしょう  
あなたが これを知っておられるとは  
人の子とは いったい何ものなのでしょう  
あなたが これを顧みられるとは

詩篇144篇(聖書)